

2023・小学校低学年「よるのあいだに…みんなをささえるはたらく人たち」

□この本はよるにはたらく人たちのお話です。はじめはこの本に書かれている人たちについて（おどろきました／あまりきょうみがなかった／ふしぎだった／大変だと思った／眠っているので考えたこともなかった）です。

なぜなら、だからです。

□私はよるにはたらく人の中で、〇〇〇さん／〇〇〇のおしごとが、いちばん大変／すごい大切だ／やってみたい／じぶんではやりたくない／いないと不便／みんなの役に立っている／とてもじゅうようなしごとと思いました。

なぜそう思うかというと、（りゆう）だからです。

□この本を読むまで、「よるのあいだ／よるにはたらく人」についてよく／ふかく考えたことがありませんでした。

□今まであたりまえのように べんりなもの／安全なせいかつ／かいてきなまち が、たくさんの人たちによって支えられている／協力しあっている／がんばってくれている/ということを知りました。

□もし、よるにたはらく人がいなかったら、きっとじゃないかと思いました。

□もし私がよるにたはらくとしたら、△△△のおしごとをしてみたい／したくないと思いました。

なぜなら、だからです。

□みんながねむっているよるのあいだにはたらくということは、と思いました。

□それでもがんばってよるにはたらくということは、だと思いました。

□同じくらい、昼も夜もなくはたらく／めだたないところでもはたらく／人に知られないところではたらく／人がいやがるしごとでもがんばる／きけんなしごとをしてくれる／みんなのためにはたらく/ことは、ではないかと思いました。

□この本をよむ前は、はたらく／よるにはたらく／みんなのためにはたらくことについて、
と思っていました／かんがえていました。

でもこの本をよんでと言うことを知って
と思うようになりました／かんがえるようになりました。

□これからは、よるはたらく人を見かけたら／人のためにはたらく人を見たら／おしごとをがんばる家族に
ありがとうの気持ちを～／かんしゃの心で～／心からすごいなと～／本当にかっこいいと～／私がおとなになった
ときは～／いつも安全でかいてきな生活を～/と思いました。